

見守り
新鮮情報

手すりにしっかり つかまって エスカレーターでの 事故に注意



©Kurosaki Gen

事例1 スーパーで下りエスカレーターに乗っている際、前方の人が転倒しエスカレーターが**緊急停止**した。その際に、後ろに**倒れて**ひじと頭を**強打**した。(70歳代)

事例2 夫が、家電量販店の下りエスカレーターで**転倒**し、頭が下になった状態で転がってしまった。幸い一緒にいた娘とほかの客が支えたので、おしりの**打撲**だけで済んだ。使用している**杖**がどこかに**挟まった**のかもしれない。(80歳代)

ひとこと助言

カートの時は
エレベーターを利用!



見守るくん

- エスカレーターでの転倒は、死亡や重篤な事故に至るケースもあり注意が必要です。
- 高齢になるにつれて、足元の動きに想定外の変化があった時、とっさに対応しにくくなるので気をつけましょう。
- エスカレーターは、非常停止スイッチが押された時や、衣服が挟まった時など様々な原因で緊急停止することがあります。エスカレーターに乗っている際は歩いたりせず、しっかりと手すりにつかまりましょう。
- 両手に荷物を持ったり、買い物カートやシルバーカーを押している時などは、エレベーターを利用しましょう。
- 靴やサンダル、衣類の裾などが挟み込まれないように、黄色い線の内側に立ちましょう。傘の先や杖などがステップの溝に挟まって抜けなくなる場合もあるので注意しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第488号 (2024年8月8日) 発行：独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **095-829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時** (土日祝も可 月曜定休)